

近年の飼料穀物の輸入状況

- 飼料穀物の輸入量は、近年約1,300万トン程度で推移。主な輸入先国は、米国、ブラジル、オーストラリアなど。
- 飼料穀物のほとんどは輸入に依存しており、特に、使用割合が高いとうもろこしは、米国、ブラジルに大きく依存。

我が国の飼料穀物輸入量 (万トン)

	R1年度	R2年度	R3年度 (確報値)
とうもろこし	1,169	1,155	1,144
こうりゃん	30	25	18
小麦	30	34	38
大麦	91	95	102
その他	6	5	5
合計	1,326	1,314	1,308

注: その他とは、えん麦、ライ麦である。

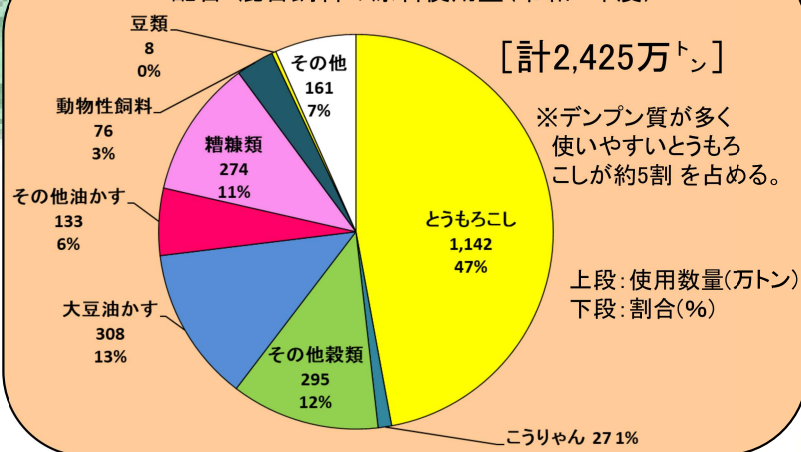
世界のとうもろこしの輸出状況 (百万トン)

	R2/3輸出货量	R3/4輸出货量	R4/5輸出货量 (予測)
①米国	69.8(38%)	62.8(31%)	48.9(27%)
②ブラジル	21.0(12%)	48.0(23%)	50.0(28%)
③アルゼンチン	40.9(22%)	34.0(17%)	35.0(19%)
④ウクライナ	23.9(13%)	27.0(13%)	22.5(12%)
世界計	182.7(100%)	204.7(100%)	181.1(100%)

我が国のとうもろこしの主な輸入先とシェア

	R1年度	R2年度	R3年度 (確報値)
米国	47%	69%	69%
ブラジル	50%	30%	15%

配合・混合飼料の原料使用量 (令和3年度)



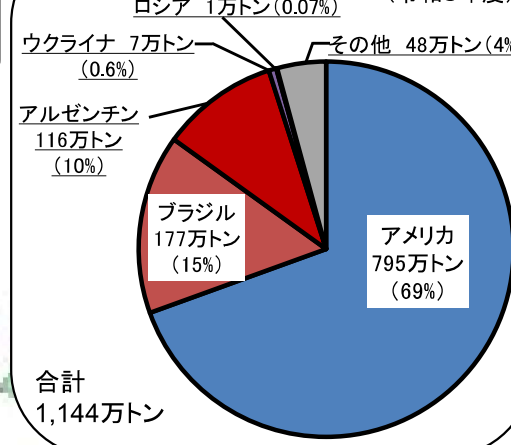
配合飼料: 家畜種とその成長ステージに応じた栄養素の要求量を満たすように、とうもろこし、大豆油かす等を混合した飼料
混合飼料: とうもろこし、大豆かす等数種類の原料を混ぜた飼料

米国(令和3年度)
とうもろこし(69%)
小麦(1%)

ブラジル
(令和3年度)
とうもろこし
(15%)

オーストラリア
(令和3年度)
大麦(100%)
小麦(92%)

直近の飼料用とうもろこしの輸入国及び輸入量 (令和3年度)



米国産とうもろこしの需給 (百万トン)

	R2/3	R3/4	R4/5 (予測)
生産量	358.4	382.9	348.8
輸入量	0.6	0.6	1.3
国内需要量	306.7	317.1	303.9
飼料用	142.4	145.2	134.0
エタノール用	127.7	135.3	133.4
その他	36.6	36.6	36.5
輸出量	69.8	62.8	48.9
期末在庫量	31.4	35.0	32.2
期末在庫率(%)	8.3	9.2	9.1

資料: 財務省「貿易統計」、USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates (Feb 8, 2023)」、(公社)配合飼料供給安定機構「飼料月報」
注: 米国産とうもろこしの需給については、1bu=約0.025401tとして農林水産省飼料課において換算。